

育てにくい子にはわけがある SEASON 2
～しでかす子にもわけがある～

最終回
我が子の？を解き明かす！
～あなたの悩みを希望につなげる80分～
サロン限定WEBセミナー

3/8(火)
21:00-22:20
@ZOOM

サロン内でアーカイブ動画も配信中！

事前申し込みは必要なし！

講師 木村 順



■序章：『しでかす子にもわけがある』で使った考え方のすじ道

講師・木村 順の

I：お母(父)様方の**心配ごと**や**困りごと**～2つに分けて整理

<p>「何故、○○できないの？」 →多くは本人が”困っている”</p>	<p>「何故、××しでかすの？」 →多くは周囲が”困っている”</p>
<p>【ほんの一例】</p>  <p>読み書きが苦手 数字や計算が苦手 聞く・話すが苦手 推論するのが苦手 不器用(全身運動) 不器用(手先の操作)</p>	<p>【ほんの一例】</p>  <p>他害・暴力を振るう 自傷・些細なことで騒ぐ パニック・暴れる 過剰に騒ぐ・はしゃぐ 集団行動をかき乱す</p>

※ 今年度のテーマは、しでかす系が中心

II：「一過性」の「つまずき」の場合もあるが……

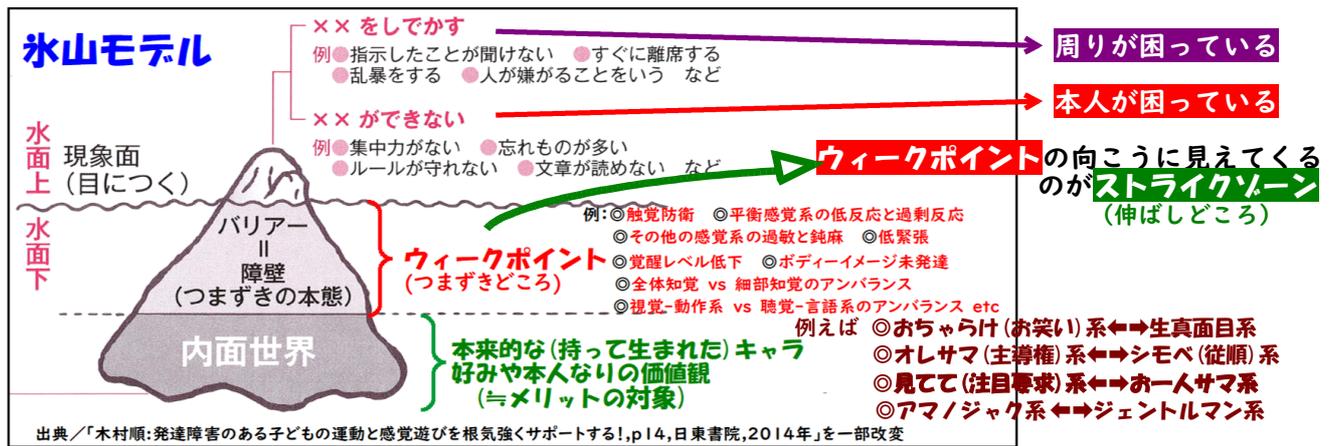
- 『胎生期』から『周産期(出産期)』、『その後の発育経過』を総合的に見(観・診・視)ていく必要あり
- ※ココのアセスメントが出来ない支援者が、『様子をみましょう』と言ってしまいやすい
- ※今年度の話題からは、外しています

III：発達の「つまずき」を”遅れ”と”偏り(歪み)”の2つに分類

- A. 発達の**遅れ**……健常見の発達で言うと”〇歳〇ヶ月頃”と表現可能
 ~背景に『発達課題の**未学習**』が横たわっていることが多い
 → 『**できない系**』で語られることが多い
 ※ココを支援者が理解『**できない**』→ 『**本人のやる気や努力不足の問題**』と捉えやすい
- B. 発達の**偏り**……健常見の発達では、原則的には観られない状態
 ~背景に『発達課題の**誤学習**』が横たわっていることが多い
 → 『**しでかし系**』で語られることが多い
 ※ココを支援者が理解『**できない**』→ 『**本人の性格の問題**』や『**家庭環境の問題**』、
 『**親の躱げの問題**』と捉えやすい

IV：ココから、**？(はてな)**を解き明かす際の4つの文脈

I) 事の背景を考えていくためにも、「**氷山モデル**」を活用



◆「**ウィーク・ポイント**」の見抜き方

- A: **発達論**の学び……後述/中でも、**発達メカニズム論**
- B: **症状論**の学び……後述/中でも、**症状発生のメカニズム論**

◆「**ストライク・ゾーン**」の見定めと、**そこへの投球**の仕方

- A: 発達論と症状論の学びを基礎にした**評価論**の学び
- B: **アプローチ(≒方法)**の**開発史 & 原理**の学び

この内容の解説と
アドバイスを受ける
権利を持っているの
が「保護者」でしょう

ロ) 「**メリットの法則**」……ヒトの「**行動原理**」

=概ねヒトは(大人も子どもも)、「**メリット(価値を認める)**」のある方へ行動が赴く

~ただし、何が「**メリット**」として位置づけられているかは、
その人・その子によって様々(≒その子なりの”理由”アリ)

ハ) =「**原因**」と「**理由**」という二つの観点

「**原因**」=「(客観的な)症状理解」と「**理由**」=「(主観的であるが)本人なりの解釈」

1. 例えば **ことあるごとに教室から脱走するA君~しかし、常に脱走してはいない**

2. **原因**としての解釈

- ・ADHD(注意欠如多動症)だから、「注意散漫」「衝動性」が強い「多動」になる

※ 知識さえあれば、**第三者の多くが納得できる説明が「原因」**

理由としての解釈

- ・だって、授業が面白くないんだよ、何の工夫もなく**て退屈**
- ・生徒のこと、褒めないし…
- ・ボク先生に**嫌われてる**しね

※ 主観的ではあるが、**本人にとっては切実な現実であるのが「理由」**

”この子”の内面世界に寄り添う心構えがあれば、**専門性が無くても読み取れる!**

ニ) 更に、行動形成には「**習慣化(パターン化)**」という原理もアリ